（開催要項）

中国書画と表装裂　調査報告会

日　　時:2026 年 12 月 26 日（土）　13:00～16:40
会　　場:京都市立芸術大学　第1講義室（C 棟1階）
開催方法:対面　※ライブ配信は行いませんが、申し込みいただいた方には、期間限定で録画を配信予定です。
言　　語:日本語
定　　員:会場定員 80 名
参 加 料:無料
参加方法:11 月 23 日（月・祝）以降に、下記よりお申し込みください。
申し込み専用フォーム
https://forms.gle/DkU1bq6hG7uVVgTq5　（QR コードからも申し込み可能です）
募集締切は 12 月 12 日（土）までです。後日、抽選結果と録画配信のお知らせをお送りします。
主　　催:一般社団法人　文化財修理表装裂継承協会
共　　催:京都市立芸術大学　総合芸術学専攻・保存修復専攻
協　　力:関西中国書画コレクション研究会
後　　援:美術史学会、文化財保存修復学会

【趣旨】
東洋日本の書画は絹や紙に描かれることが多く、鑑賞と収蔵のためには表装が欠かせません。貴重な文化財である古書画にはどのような表装裂が使用されているのでしょうか。そして、そこから何が分かるのでしょうか。この報告会では、文化財修理表装裂継承協会が、近年、関西の美術館、博物館と共同で行っている中国書画の表装調査の成果を報告し、書画と表装の関係性や修理・継承における課題などについて考えます。

【プログラム】
司会:竹浪　遠（京都市立芸術大学）
13:00～13:10　ご挨拶　　田中淳史（文化財修理表装裂継承協会　代表理事）
　　趣旨説明　竹浪　遠
13:10～13:20 「文化財修理と表装裂製作の現状」 中野慎之（同志社大学）
13:20～13:30 「表装裂調査の概要」 黒川清夏（文化財修理表装裂継承協会）

調査報告1　李迪「雪中帰牧図」対幅（大和文華館）
13:30～13:50 「「雪中帰牧図」の魅力」 都甲さやか（大和文華館）
13:50～14:20 「「雪中帰牧図」の表装裂」 黒川清夏
14:20～14:30　発表者コメント

14:30～14:40　休憩

調査報告2　鄭思肖「墨蘭図」（大阪市立美術館）
14:40～15:00 「「墨蘭図」の意味と伝来」 弓野隆之（大阪市立美術館）
15:00～15:30 「「墨蘭図」の表装裂」 黒川清夏
15:30～15:40　発表者コメント

15:40～15:50 休憩

15:50～16:05 「文化財修理における表装裂製作工程」 谷口　正（文化財修理表装裂継承協会　専務理事）
16:05～16:35　ディスカッション　ディスカッサント:森橋なつみ（京都国立博物館）
16:35～16:40　おわりに

以上